



千曲川河川事務所へ要望を行いました。

平成31年2月19日

協会と連合会により、国土交通省千曲川河川事務所木村所長へ、本会の高見澤秀茂会長から要望書を提出しました。

骨材の安定供給のため、千曲川等における河川砂利の採取についての要望に対して「骨材は公共・民間を問わず社会資本整備にとって重要なものであり、貴協会が重要な役割を担っていただき感謝している。今後においても情報共有しながら千曲川からの砂利採取を進めていきたい。」とのあいさつに続き、「平成30年7月の豪雨災害を踏まえて実施した、重要インフラの緊急点検結果に基づき、3か年で緊急的に実施する河道掘削や樹木伐採等に関する補正予算が計上された。今後事業を進めるうえで、多くの関係者と調整を行う必要があり、砂利採取の観点から貴協会にもご意見ご協力をお願いする場面もあるのでよろしくお願いいたします。」等、丁寧なご対応をいただきました。

要望書提出に先立ち千曲川及び犀川流域の関係組合から各地域毎の固有の実情等を取りまとめ、当日は片井周一副会長（東信砂利協同組合理事長）、山川和夫理事（上高井砂利採取販売事業協同組合理事長）、藤澤理事（飯山砂利採取販売協同組合理事長他、関係する組合事務局が出席いただきました。

